

アメリカ市民社会の最前線

ーグローバル時代のNPOの役割と人材育成ー

関西国際交流団体協議会30周年記念
国際シンポジウム発表資料

2014年12月14日(日)
日本財団 小林立明

はじめに

- 本日の議論のポイント

1. Share Our StrengthのNo Kid Hungryキャンペーン事例から見たアメリカのNPOセクターの変貌。
2. この結果、NPOの担い手に求められるようになった新たなスキル。
3. 米国の大学院レベルでのNPO人材育成プログラムの紹介
4. (参考)フィランソロピーの新たなフロンティアの時代における新しいソーシャル・ファイナンス

アメリカのNPOの現在: Share our Strengthの経験から



Help end childhood
hunger this holiday

Make sure that every kid has healthy food every day
with your tax-deductible gift this holiday season.

<https://www.nokidhungry.org/about-us>

アメリカのNPOの現在: Share our Strengthの経験から



■プログラム

- * No Kid Hungryキャンペーンを全米で実施
- * 「料理が鍵 (Cooking Matters)」教育プログラム
- * Team No Kid Hungryネットワークの形成
- * 学校での朝食事業やサマースクール給食事業

■歴史

- 1984年 エチオピア飢饉を機に、兄弟が設立
- 1988年 「国民の味」キャンペーン1日で25万ドルを調達
- 1993年 「料理が鍵」プログラム開始
- 1997年 コミュニティの富パートナーズ立ち上げ
- 2004年 20周年を機に、米国の子供の飢餓問題に転換
- 2005年 「偉大なアメリカのパン販売」キャンペーン
- 2006年 「No Kid Hungry」パイロットプログラム開始
- 2007年 食品専門テレビネットワークとパートナーシップを締結
- 2008年 「No Kid Hungry外食」プログラム開始
- 2009年 「アメリカの教室における飢餓」報告書刊行
- 2010年 No Kid Hungryキャンペーン開始
「健康でひもじい思いをしない子供」法成立。
- 2012年 「No Kid Hungry月間」キャンペーン
- 2014年 連邦政府社会革新基金から150万ドルのグラント
(連邦政府の5つの栄養プログラムの評価を実施予定)

■インパクト(2013年度)

- * 「料理が鍵」参加者30,559名
- * 「外食」資金調達880万ドル以上
- * 「パン販売」資金調達100万ドル以上
- * NYワインフェスで750万ドル以上調達

■財務状況(2013年度)

- * 収入: 3,999.6万ドル
(寄付・グラント4,483.3万ドル)
- * 支出: 3,980.1万ドル
- * 正味財産: 1,118万ドル

■役員給与(2013年度)

- * 創設者&CEO: 26.7万ドル
- * 共同創設者: 20万ドル
- * 会長: 35.3万ドル

アメリカのNPOの現在: Share our Strengthの経験から



広範な企業とのパートナーシップ



アメリカの非営利セクターの現在

経営戦略の高度化、企業他との協働の強化、資金調達手法の変化、営利とのハイブリッド化などが進行中

- 戦略的経営
- 経営基盤の整備（法務、財務、人材開発、資金調達、マーケティング）
- ガバナンス
- 評価

キャパシティ・ビルディング

営利・非営利のハイブリッド化

- 革新的ビジネス・モデルの開発
- 社会的企業化
- ハイブリッド型組織への転換

ソーシャル・イノベーション

スケール・アップ

集合的インパクト

- 経営の高度化
- 資金アクセス手法の強化・多様化（寄付・グラントから投融資へ）

- 行政・ビジネス・コミュニティとのセクターを超えた協働
- アドボカシー

新たな時代の戦略・意思決定・リーダーシップ

新たな時代においては、非営利セクターもまた戦略・組織・人材を革新していく必要がある。

伝統的フィランソロピー

フィランソロピーのフロンティア

戦略

戦略計画策定

リアル・タイム戦略計画策定

意思
決定

トップダウン

コレクティブ・ラーニングを重視した
柔軟な意思決定システム

リーダー
シップ

カリスマ的リー
ダーシップ

適応的 (Adaptive) リーダーシップ

テキサスA&M大学公共サービス・経営大学院

公共経営、公共政策分析に加えて、非営利経営トラックを持っている。

必修科目

非営利組織の基礎

非営利組織経営

非営利組織の財務経営

選択科目

国際NGO

非営利のマーケティング

グラントとプロジェクトの運営

フィランソロピーと資金調達

社会福祉・医療政策

非営利のガバナンス

選択科目

ネットワーキングと組織間協働

パフォーマンス評価

ボランティアと人材管理

社会革新と起業

国際開発の政治経済学

ミネソタ大学公共政策大学院非営利経営資格認定プログラム

□ 必須科目

- ・ 財務分析と財務経営入門
- ・ 戦略計画の策定と戦略的経営
- ・ 非営利組織の経営とガバナンス

□ リーダーシップ

- ・ 社会的企業
- ・ 紛争管理
- ・ プログラム評価
- ・ 社会的共有財のためのリーダーシップ
- ・ 上級コミュニティ活動（リーダーシップ、計画策定、プログラム開発） 等

□ 統合リーダーシップ

- ・ イノベーション社会におけるリーダーシップと変革
- ・ ファシリテーションと紛争管理：人間中心的アプローチ 等

□ 財務と資金調達

- ・ 公共機関と非営利機関における財務経営
- ・ 非営利のファイナンス：哲学と現実 等

□ 変化する組織環境

- ・ 組織のパフォーマンスと変革
- ・ 戦略的人材管理
- ・ 公共政策の遂行
- ・ 上級コミュニティ活動（評価、組織化、アドボカシー）
- ・ 組織の発展 等

□ 政策分析

- ・ 政策分析入門
- ・ 政策アドボカシー（上級編） 等

ペンシルヴァニア大学非営利指導者育成修士課程

新たな時代の人材育成を目指し、リーダーシップ、戦略的経営、イノベーションに重点

必修科目

非営利組織の戦略経営

ニューエコノミー時代の
リーダーシップ

戦略計画策定

財務管理

社会的企業

選択科目

社会的インパクトの追求と倫理

社会変革を担う個人的特性と
専門的スキル

グループ・ダイナミクスと
組織内ポリティクス

リーダーシップと社会変革

ソーシャル・インパクトのための
スキル形成

フィランソロピーと資金調達

その他

非営利団体での実習

ウォートン・ビジネス・スクール
やFELS公共政策大学院

リップマン・ファミリー賞
学生選考委員会

ハイインパクト・フィランソロ
ピー研究所

詳細についてはウェブサイト(<http://www.sp2.upenn.edu/programs/npl/>)を参照してください。

(参考:フィランソロピーの新たなフロンティア)

「フィランソロピー」の再定義:
社会的、環境的目的に向けた、民間資源の動員

伝統的フィランソロピー

フィランソロピーのフロンティア

支援
主体

助成財団
個人

社会的インパクト投資家
銀行、企業、コミュニティ開発金融機関

支援
手法

グラント・メイ
キング、寄附

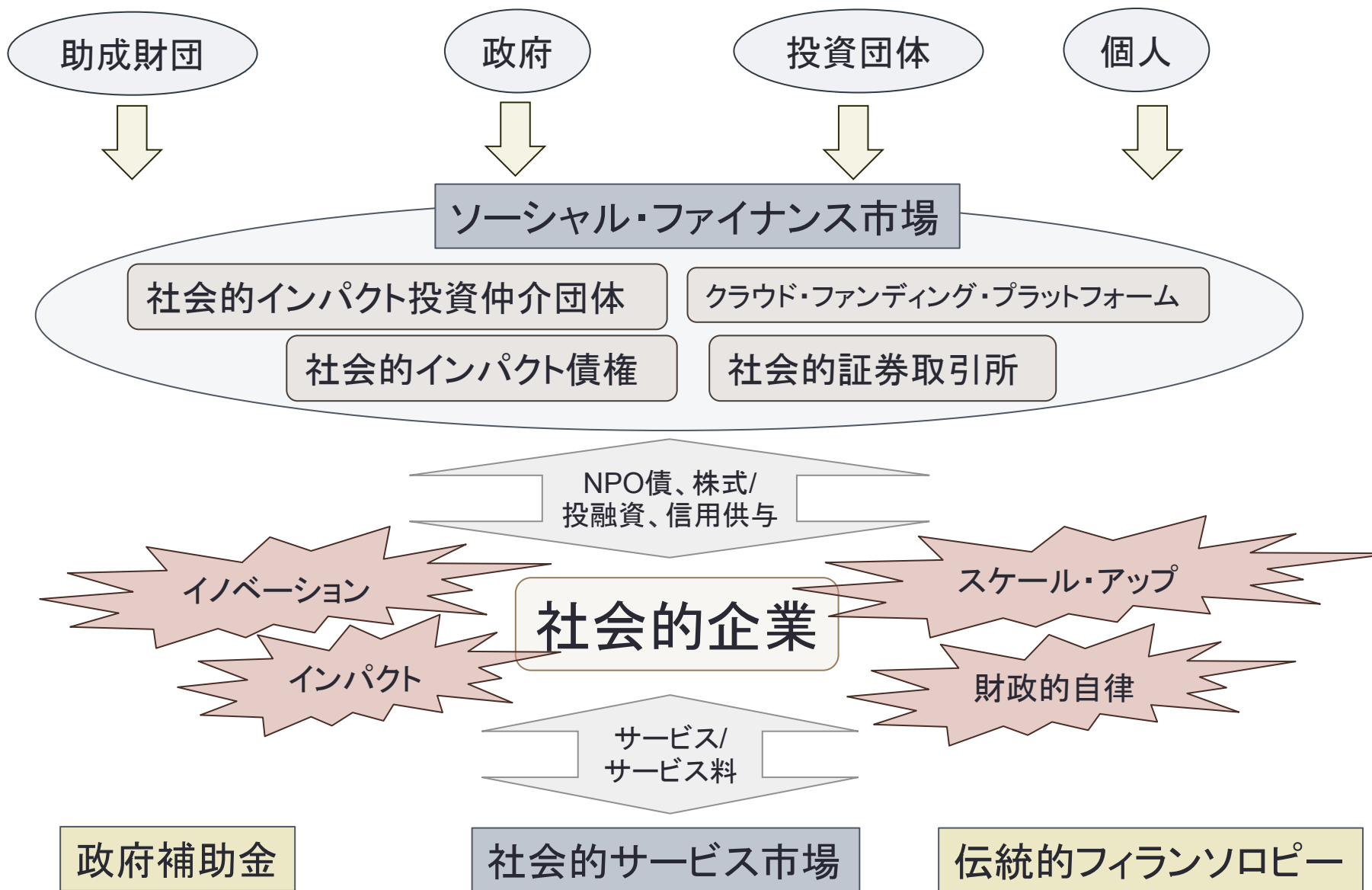
社会的インパクト投資、
コミュニティ開発金融、企業の社会貢献

支援
対象

非営利団体

社会的企業
コミュニティ・ビジネス団体

(参考: 新たなソーシャル・ファイナンスへ)



ご清聴ありがとうございました!